

平成29年度 総会資料

開催日:平成29年6月14日(水)13:30～

場 所:相馬市LVMH子どもアート・メゾン



特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

平成29年度 総会次第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長選任
4. 議事録署名人選任
5. 議事
 - (1) 議案第1号 平成28年度事業報告及び活動決算について
 - (2) 議案第2号 平成29年度事業計画(案)及び活動予算(案)について
 - (3) その他
6. その他
7. 閉会

平成28年度事業報告書

【心のケア事業】

1 事業の実施内容

震災による子どもへのPTSD対策や成長への支援を実施するため臨床心理士等の専門家を中心に被災小中学校及びLVMH子どもアート・メゾンでのカウンセリング等を行った。さらに、被災した子どもに生きる力を育むため学力向上や社会性育成の支援を行った。

2 事業の実施状況

(1) 学校訪問での児童・生徒・保護者・教職員への相談

① 回数等：延べ298件

② 内容：対象 中村第二小学校121回（世界の医療団10回）、中村第二中学校86回、磯部小学校51回、磯部中学校40回

(2) LVMH子どもアート・メゾン相談室での心理相談件数

① 回数等：延べ339件

② 内容：カウンセリングやプレイセラピー（遊戯療法）などの心理支援を行った。また、必要に応じて発達検査や心理検査なども実施した。

(3) 関係機関との連携

① 内容：市保健センター主催「すこやか教室」（6回）、「発達障害ネットワーク」（1回）、ゆうゆうクラブ子ども部会（4回）に参加し、関係団体等との情報交換を行ったほか、研修会等に講師として参加するなど関係機関との連携を図った。

(4) 震災遺児・孤児に対して

当該児童生徒については、カルテを作成し、スクールカウンセラーや担任、養護教諭、家庭などから情報を収集し、多角的視点で見守り、必要に応じてカウンセリングを行った。

(5) 緊急支援の依頼

① 件数：2回

② 内容：平成28年11月22日の震度5弱の地震及び津波の発生を受け、津波被災校のみならず、市内の各幼稚園・小中学校に対して、危機介入が必要なケースであり、カウンセリングや資料の配付、教職員へのコンサルテーションなどの心理支援を行った。

平成29年2月13日、南相馬市において中学2年女子生徒の自殺を受け、市内の小中学校に対して、カウンセリングや資料の配付、教職員へのコンサルテーションなどの心理支援を行った。

3 事業実施の成果

この事業により、津波被害の大きかった地区の子ども、保護者、教職員等の心的外傷を緩和し、克服できるよう臨床心理士等の専門家が継続的に心のケアを行った結果、多くの子どもたちの中には、医学的な診断、治療を要するPTSDの症例は出ていない。

しかし震災から6年を経過した今でも一部の子どもの、家庭状況の変化等により精神疾患等の問題を抱える例もあり、継続的な観察や支援が必要である。

【学力向上事業】

1 事業の実施内容

東京大学の学生ボランティアが子どもの学力向上をサポートする活動（相馬寺子屋学習会）を行った。生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンを会場にして開催した中学生対象の学習会は、生徒の学習意識を高め、学力向上に大変役立った。

2 事業実施の成果・実績

- ・実施期間：平成28年6月25日～平成29年1月22日
- ・参加ボランティア数：延べ80人

(1) 相馬市生涯学習会館

開催数：10回

参加者：中学生延べ177人

(2) LVMH子どもアート・メゾン

開催数：10回

参加者：中学生延べ50人

【交流事業】

1 事業の実施内容・成果

- (1) 相馬フォロアーチームの支援団体である「プール学院」との交流事業へ参加した。
- (2) 担任教師が引率のもと、震災で被災した磯部中学校の生徒3名が、平成28年8月21日（日）～8月23日（火）2泊3日の日程で訪問し、プール学院の生徒と交流を深めた。
- (3) 平成28年10月19日（水）13時から15時まで、福島県内で語学の宿泊研修を終えたプール学院の中学3年生65名が磯部中学校を訪問し、学校紹介やクイズ大会、縄跳びなどの体験活動を通して交流を深めた。
- (4) 被災した生徒がプール学院の生徒や教員の方々との交流を通して、感謝の気持ちを伝えたり、活動を共にしたりするなど、社会体験活動を推進することができた。

2 東京大学のキャンパス見学会への参加

- (1) 日 時：平成28年7月28日（木）
- (2) 場 所：東京大学 本郷キャンパス
- (3) 参加者：市内中学生18名（引率2名）
- (4) 内 容：① キャンパス見学
② 大学生との交流
③ 大学の先生による講義の体験
- (5) 成 果：学力向上事業のボランティアであり、学習支援活動の協力をいただいている東京大学学生との交流を図ることができた。

平成28年度活動計算書

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取寄付金		
受取寄付金	0	0
2 受取助成金等		
受取補助金	0	0
3 事業収益		
市委託料収入	20,859,402	20,859,402
4 その他収益		
受取利息	140	
雑収入	162,000	162,140
経常収益合計		21,021,542
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	7,575,515	
法定福利費	1,136,576	
人件費計	8,712,091	
(2) その他経費		
旅費通信費	488,018	
賃借料	1,728,300	
その他事業費	682,895	
その他経費計	2,899,213	
事業費計		11,611,304
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	5,411,083	
法定福利費	811,840	
人件費計	6,222,923	
(2) その他経費		
旅費通信費	240,684	
賃借料	610,000	
減価償却費	175,441	
その他管理費	487,782	
その他経費計	1,513,907	
管理費計		7,736,830
経常費用合計		19,348,134
当期経常増加額		1,673,408
当期正味財産増加額		1,673,408
前期繰越正味財産額		6,990,947
次期繰越正味財産額		8,664,355

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,651,440		
未収入金	1,820,031		
流動資産合計		8,471,471	
2 固定資産			
車輛運搬具	291,669		
什器備品	125,446		
固定資産合計		417,115	
資産合計			8,888,586
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	71,938		
預り金	152,293		
流動負債合計		224,231	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			224,231
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,990,947	
当期正味財産増加額		1,673,408	
正味財産合計			8,664,355
負債及び正味財産合計			8,888,586

財産目録

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
東邦銀行普通預金 (No.1035128)	6,651,440	
未収入金 受託料(相馬市)	1,820,031	
流動資産合計		8,471,471
2 固定資産		
車 輛 運 搬 具		
ダイハツエッセ (福島580つ6537)	291,667	
スズキアルトF (福島580の4217)	1	
スズキエブリィ (福島580の3785)	1	
車 輛 運 搬 具 合 計	291,669	
什 器 備 品		
パソコン	1	
リコープリンター	1	
知能検査コンプリートセット	1	
知能検査セット	125,443	
什器備品合計	125,446	
固定資産合計		417,115
資産合計		8,888,586
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
3月分 賃金	39,667	
3月分 水道光熱費	32,271	
未払金合計	71,938	
預り金		
1~3月分 源泉税	152,293	
流動負債合計		224,231
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		224,231
正味財産		8,664,355

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正
NPO法人会計基準協会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

税込処理である。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算に計上していません。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科 目	心 理 ケ ア 事 業	寺子屋ふれあい 事 業	合 計
(1) 人 件 費			
給料手当	7,575,515		7,575,515
法定福利費	1,136,576		1,136,576
人件費計	8,712,091		8,712,091
(2) その他経費			
旅費通信費	336,818	151,200	488,018
賃借料	854,000	874,300	1,728,300
その他事業費	682,895	0	682,895
その他経費計	1,873,713	1,025,500	2,899,213
合 計	10,585,804	1,025,500	11,611,304

監査報告書

平成28年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、平成29年6月5日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

平成29年6月14日

特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

監事 反畑正博 (反畑)

平成29年度事業計画（案）

事業内容

1 心理ケア事業

(1) 学校巡回カウンセリング

相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小中学校を中心に、相馬フォロアーチームのカウンセラーが定期的に巡回し、被災した児童生徒とその家族、また教員を対象にカウンセリングを実施する。

① 対象校

中村第二小学校、中村第二中学校、磯部小学校、磯部中学校

※ 世界の医療団から1名のカウンセラーが月に1回派遣され、中村二小で活用する。

※ 平成29年度から磯部小学校に、県教育委員会からカウンセラーが派遣されることになり、本チームからの派遣と併せて複数配置となる。

② 予定される訪問回数

- ・ 中村第二小学校・・・126回
- ・ 中村第二中学校・・・83回
- ・ 磯部小学校・・・・・・44回
- ・ 磯部中学校・・・・・・43回

(2) LVMH子どもアート・メゾンにおけるカウンセリング

- ・ LVMH子どもアート・メゾン相談室で、心のケアや子育ての相談を実施する。

(3) 関係機関との連携

- ・ 関係団体等との情報交換や研修会等に講師として参加するなど関係機関との連携を図る。

(4) 震災遺児・孤児に対するケア

- ・ 関係機関と連携し、継続的に見守る。

2 学力向上事業

(1) 被災した子どもたちの学力向上をサポートするため、相馬市教育委員会並びに東京大学と連携をしてボランティアの学生に協力をいただき、生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンで「学習会」を開催する。

(2) 実施予定回数は13回とする。

3 交流事業

(1) 相馬フォロアーチームの支援団体であるプール学院との交流を図る。

(2) 東京大学キャンパス見学会を実施する。

平成29年度活動予算書

平成 29 年 3 月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	
2 受取助成金等			
受取補助金	0	0	
3 事業収益			
市委託料収入	24,620,760	24,620,760	
4 その他収益			
受取利息	100	100	
経常収益合計			24,620,860
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	8,350,000		
法定福利費	1,450,000		
人件費計	9,800,000		
(2) その他経費			
旅費通信費	2,000,000		
賃借料	854,000		
その他事業費	2,000,000		
その他経費計	4,854,000		
事業費計		14,654,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	6,000,000		
法定福利費	1,000,000		
人件費計	7,000,000		
(2) その他経費			
旅費通信費	500,000		
賃借料	610,000		
減価償却費	350,000		
その他管理費	1,500,000		
その他経費計	2,960,000		
管理費計		9,960,000	
経常費用合計			24,614,000
当期経常増加額			6,860
当期正味財産増加額			6,860
前期繰越正味財産額			8,664,355
次期繰越正味財産額			8,671,215

監査報告書

平成28年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、平成29年6月5日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

平成29年6月14日

特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

監事 反畑正博 